

◆初公開資料でたどる晶子と寛がみたパリ◆
さかい利晶の杜開館 10 周年記念
企画展「パリより-与謝野晶子と寛の渡欧体験-」を開催します

さかい利晶の杜では、開館 10 周年を記念して企画展「パリより-与謝野晶子と寛の渡欧体験-」を開催します。

与謝野晶子は、明治 45 年（1912 年）5 月、先に渡欧していた夫の寛を追ってパリに向かいます。そして二人は約 4 か月間、パリを拠点に、イギリス・ドイツ・オーストリア・オランダなどを訪れ、様々な芸術文化に触れて感銘を受けました。

本展では、晶子と寛の人生を大きく変えた渡欧体験を、共著である紀行文集「巴里より」や初公開となる寛の渡欧日記を中心に、晶子の創作ノートや当時の雑誌など、思い出の品々を通してたどります。なかでも、寛の渡欧日記やフランスの雑誌掲載用に撮影された晶子と寛の肖像写真、パリで面会した彫刻家のオーギュスト・ロダンが寛に送った書簡などの初公開資料にご注目ください。

- 1 展覧会名 企画展「パリより-与謝野晶子と寛の渡欧体験-」
- 2 会 期 等 令和 7 年 7 月 26 日（土）～9 月 7 日（日）
開館時間 午前 9 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）
休館日 8 月 19 日（火）
- 3 会 場 さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西 2 丁 1-1）
- 4 観 覧 料 大人 300 円（240 円）、高校生 200 円（160 円）
※常設展示室（与謝野晶子記念館、千利休茶の湯館）と共通料金
※（ ）内は 10 名以上の割引料金
※中学生以下と堺市内在住の 65 歳以上の方は無料
※障害のある方とその介助者は無料（要証明書）
- 5 主催等 主催：堺市
協力：与謝野晶子倶楽部

6 展覧会のみどころ

・初公開資料を約 20 点展示

晶子と寛が渡欧時に書いた創作ノート、二人と交流のあった人々の名刺、地下鉄の切符や遊園地のチケットなど約 20 点の資料を初公開。（フランスで出版された雑誌の表紙に使われたオリジナルの晶子肖像写真、彫刻家オーギュスト・ロダンが寛に送った書簡等）

・渡欧時の状況が明らかに

大正 3 年（1914 年）、晶子・寛共著の紀行文集「巴里より」が出版されました。本企画展で全国初公開となる寛の渡欧日記には、「巴里より」の素地となった渡欧時の行程が詳細に書き留められています。幅広い分野の人々との交流や、フランス語の習得と詩作のために美術館・カフェなどに出かけている様子が記され、寛の再起をかけた情熱をも感じてもらいます。

・晶子と寛の作品を通してパリを体感

晶子と寛が訪れた明治 45 年から大正元年（共に 1912 年）までのパリの状況を、二人の作品を通して紹介します。その後の人生を大きく変えた渡欧体験の中で、最も濃密な時間を過ごしたパリでの日々を晶子と寛の作品を通して体感できます。

7 主な展示資料

①与謝野寛筆「渡欧日記」【初公開】（堺市博物館寄託（与謝野光氏旧蔵））

明治 44 年（1911 年）11 月、与謝野寛は、晶子より先に熱田丸で横浜港を出発し、2 か月かけてパリに向かいます。

明治 44 年（1911 年）11 月 19 日から大正元年（1912 年）11 月 17 日にかけて寛が書き留めた渡欧時の「渡欧日記」（いわゆる「見聞記」）を本展にて初公開。

帰国後に出版された二人の紀行文集「巴里より」（東京朝日新聞の記事も含む）は、この日記をもとにまとめられています。



②与謝野寛・晶子紀行文集「巴里より」（堺市博物館蔵）

明治 44 年（1911 年）11 月から帰国の途につく大正元年（1912 年）12 月に書いた晶子と寛の紀行文と詩が収録されています。

また、紀行文とともに、風景写真の絵はがきが数多く散りばめられ、渡欧時の状況がイメージしやすい内容になっています。

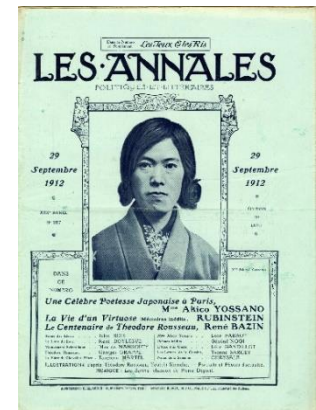
本の装幀を手掛けた徳永柳洲（とくなが りゅうしゅう）は、寛と船に乗ってパリをめざし、滞留中も寛と頻繁に行動を共にした画家です。

表紙に描かれている女性はおそらく晶子であり、帰国後しばらく洋装で過ごしていた晶子のトレードマークともいえるつばの広い帽子が印象的です。



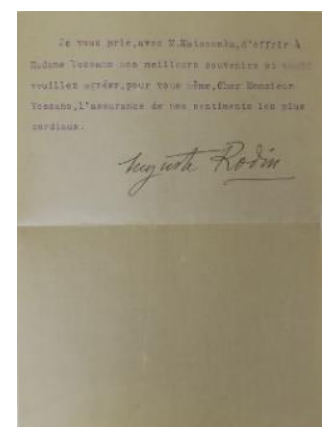
③雑誌用に撮影された写真とその掲載誌（個人蔵）

パリを訪れた有名な日本の女性詩人として晶子は雑誌『レ・ザナル』の表紙を飾ります。また、表紙だけでなく、「仏蘭西（フランス）に於ける第一印象」と題した寄稿文や、記者による晶子の紹介など、全5ページにわたる記事が掲載されています。晶子にとって、雑誌『レ・ザナル』など複数のメディアから取材される経験が、日本での評論活動を始めるきっかけとなりました。本展では、雑誌用に撮影された写真のオリジナルを【初公開】展示いたします。



④ロダンから与謝野寛に宛てた書簡 【初公開】（与謝野光氏旧蔵）

晶子と寛は、パリで明治45年（1912年）6月18日にロダンと会います。ロダンから日本で自身の展覧会を開きたいのでその仲立ちをお願いしたいと言われます。本資料は、ロダンが、大正2年（1913年）3月12日に作成した寛宛の書簡で、文章はタイプ打ち、署名は自筆。内容は、日本でのロダン展開催に向けて準備を進めていることを伝えるものです。



8 関連イベント

① 対談「与謝野晶子と寛が歩いたパリ」

日 時	令和7年7月27日（日）午後2時～午後3時30分
会 場	さかい利晶の杜 講座室
定 員	40名（先着順）
参 加 費	無料
申 込	令和7年7月1日（火）午前9時から開始 詳細は、以下のホームページをご確認ください。 https://www.sakai-rishonomori.com/
講 師	かんのとう あきお 神野藤 昭夫氏（跡見学園女子大学名誉教授） きくち えいじ 菊地 英之氏（日仏文化交流研究者）

② ワークショップ「ミニ百首屏風をつくってみよう」

日 時	令和7年8月17日（日） （午前の部）午前10時30分～午前11時30分、（午後の部）午後2時～午後3時
会 場	さかい利晶の杜 講座室
定 員	15名（先着順、未就学児は同伴者が必要）
参 加 費	無料

申 込	令和 7 年 8 月 1 日（金）午前 9 時から開始 詳細は、以下のホームページをご確認ください。 https://www.sakai-rishonomori.com/
講 師	さかい利晶の杜学芸員

③ 学芸員による展示解説（2 回）

日 時	令和 7 年 8 月 9 日（土）、8 月 31 日（日） ※各日午後 1 時 30 分から（30 分程度）
会 場	さかい利晶の杜 企画展示室
定 員	20 名程度
参 加 費	無料（展示観覧券が必要）
申 込	不要 ※開始時間までに企画展示室前に集合 詳細は、以下のホームページをご確認ください。 https://www.sakai-rishonomori.com/

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課（さかい利晶の杜） 電 話：072-260-4862 ファックス：072-238-0150
----------------------------	--